

平成 20 年 5 月 7 日（水）

## 史跡上淀麿寺跡環境整備状況について（資料）

### 【事業の概要】

名 称 史跡上淀麿寺跡環境整備事業（伯耆古代の丘整備事業の一環）  
対 象 史跡上淀麿寺跡（第 1 期：13,405 m<sup>2</sup>：主に当初の指定範囲）  
事業年度 平成 16 年度～23 年度予定（8 年計画）  
所 在 地 鳥取県米子市淀江町福岡  
事業主体 米子市（旧淀江町より継続）  
整備目的 史跡の保存・活用  
地域の方々の憩いと学習の場

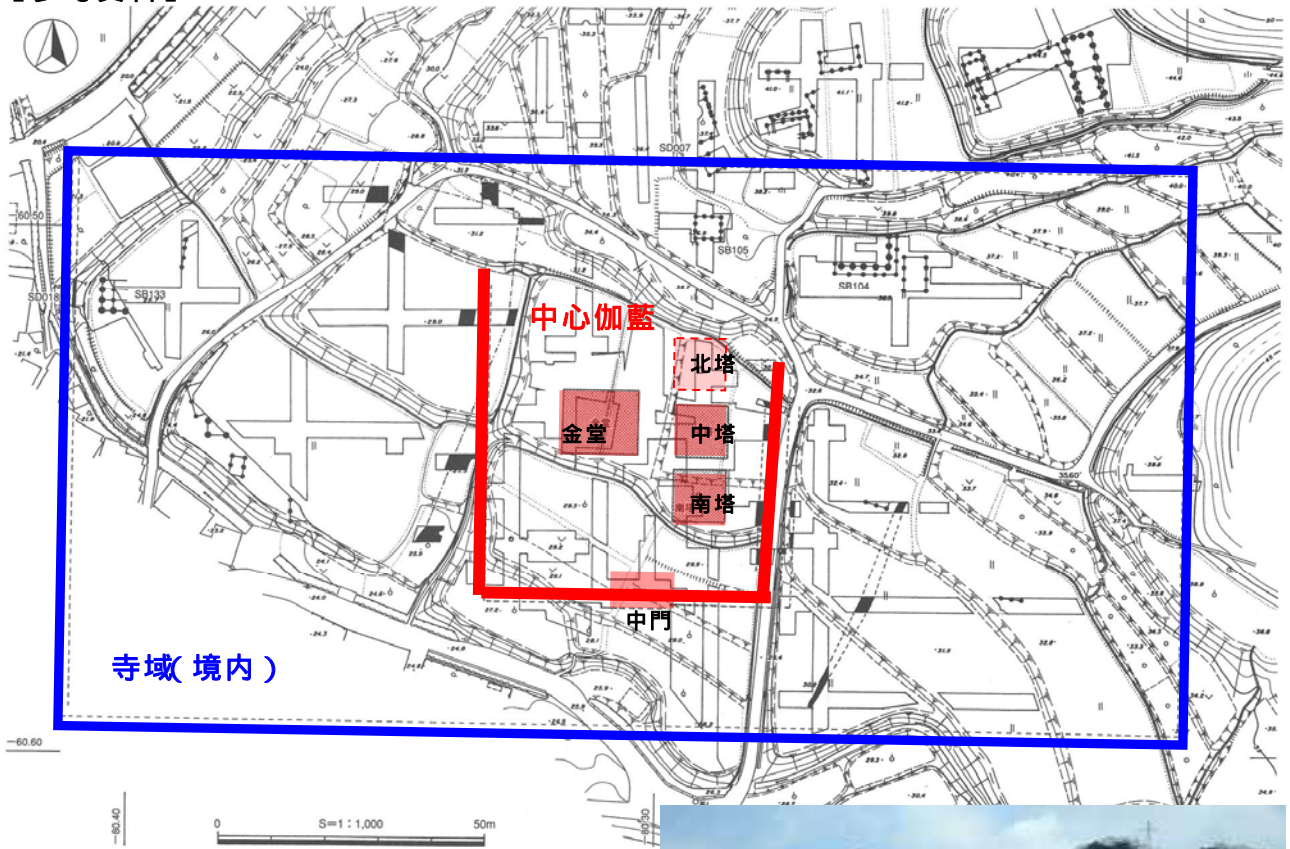
### [ H18・19 年度 ]

概 要 中心伽藍の復元的整備（金堂 - 基壇復元、中塔・南塔 - 出土状況復元）  
[ 型取りと広範囲の GRC（強化セメント）による質感を含め精巧に再現 ]  
その他、地形復元、張芝、給排水・電気設備、土留め工事など  
事業費 18 年度：70,260 千円 19 年度：41,000 千円



現地説明会 平成 20 年 5 月 11 日（日） 午後 1 時 30 分より

【参考資料】



上淀麿寺跡全体図

金堂基壇復元状況



中塔基壇の出土状況（左）と整備状況（右） 整備では心礎を元の位置に復元

## 【(対象) 史跡の概要】

名 称	上淀麿寺跡
指定年月	平成 8 年 3 月 29 日 (追加指定: 平成 17 年 7 月 14 日)
区 分	国指定: 史跡: 寺社跡
指定面積	25,560 m <sup>2</sup>
時 代	飛鳥時代 (7 世紀終り頃) 創建 ~ 平安時代 (11 世紀初め) 焼失
規 模	寺域 (境内) [2 町(212m) × 1 町(106m)]
主な遺構	金堂の東に南北 3 塔を配する設計 (独特の伽藍配置)
主な遺物	壁土(壁画)片 5,500 点、塑像片 3,300 点、鉄製品、青銅製品など
意 義	国内初の仏教壁画が出土、当時は仏教壁画では法隆寺と並ぶ国内最古級 その後も、 <u>白鳳寺院の堂内荘厳を復元できる数少ない例として評価</u>



上淀麿寺跡出土壁画  
「神将」



CG: NHK エンタープライズ製作

金堂背後から見た上淀麿寺中心伽藍